



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月12日

上場会社名 戸田工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4100 URL http://www.todakogyo.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寶來 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 上野 基康 TEL 082-577-0055
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	15,657	△10.7	△544	—	△580	—	△736	—
2019年3月期第2四半期	17,532	5.8	330	△69.9	399	△67.0	200	△76.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △977百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 218百万円 (△77.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△127.85	—
2019年3月期第2四半期	34.90	34.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	47,363	17,287	34.4
2019年3月期	48,262	18,408	36.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 16,302百万円 2019年3月期 17,409百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

配当予想の修正については、本日 (2019年11月12日) 公表いたしました「2020年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	△6.9	△900	—	△950	—	△1,200	—	△208.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日 (2019年11月12日) 公表いたしました「2020年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	6,099,192株	2019年3月期	6,099,192株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	335,050株	2019年3月期	337,956株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	5,762,498株	2019年3月期2Q	5,759,005株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、米中間の貿易摩擦の激化や世界経済の不確実性等により依然として先行き不透明な状態が続いております。

こうした状況のもと、当社グループにおきましては、リチウムイオン二次電池市場拡大に伴う需要の増加により、電池関連材料の売上が伸長しているものの、中国をはじめとする世界経済の減速の影響等を受け、基幹事業である磁石材料及び着色材料の国内外の需要が低迷したことから、売上高は15,657百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

利益面においては、継続的な原価低減活動及び諸経費削減を推し進めたものの、売上商品構成の変化による限界利益の減少等により、営業損失は544百万円（前年同四半期は営業利益330百万円）となりました。

また、営業外収支において、為替が円高に振れたこと等の影響により、経常損失は580百万円（前年同四半期は経常利益399百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は736百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益200百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は47,363百万円となり、前連結会計年度末に比べ899百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が465百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が771百万円、仕掛品が104百万円、投資有価証券が98百万円減少したこと等によります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は30,075百万円となり、前連結会計年度末に比べ221百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が646百万円、その他流動負債が568百万円減少したものの、借入金が1,497百万円増加したこと等によります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は17,287百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,121百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失736百万円、配当金の支払い115百万円、為替換算調整勘定の減少274百万円等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想の修正については、本日（2019年11月12日）公表いたしました「2020年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,853	4,318
受取手形及び売掛金	8,618	7,846
商品及び製品	3,745	3,813
仕掛品	1,965	1,860
原材料及び貯蔵品	1,858	1,760
その他	1,604	1,536
貸倒引当金	△6	△4
流動資産合計	21,638	21,131
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,806	4,211
機械装置及び運搬具(純額)	4,312	4,378
土地	6,357	6,358
建設仮勘定	720	170
その他(純額)	364	793
有形固定資産合計	15,561	15,911
無形固定資産		
のれん	68	50
その他	762	259
無形固定資産合計	830	310
投資その他の資産		
投資有価証券	3,995	3,897
その他	6,240	6,115
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	10,232	10,009
固定資産合計	26,624	26,231
資産合計	48,262	47,363

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,710	3,064
短期借入金	9,005	9,096
1年内返済予定の長期借入金	3,116	3,441
未払法人税等	82	94
引当金	320	242
その他	1,624	1,055
流動負債合計	17,861	16,994
固定負債		
長期借入金	9,162	10,245
退職給付に係る負債	2,081	2,088
その他	747	748
固定負債合計	11,992	13,081
負債合計	29,853	30,075
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,477	7,477
資本剰余金	8,892	8,886
利益剰余金	1,776	924
自己株式	△1,525	△1,512
株主資本合計	16,620	15,776
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	340	358
為替換算調整勘定	402	127
退職給付に係る調整累計額	46	39
その他の包括利益累計額合計	789	525
新株予約権	43	41
非支配株主持分	956	943
純資産合計	18,408	17,287
負債純資産合計	48,262	47,363

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	17,532	15,657
売上原価	15,029	13,681
売上総利益	2,502	1,975
販売費及び一般管理費		
従業員給料	534	523
研究開発費	154	608
その他	1,483	1,387
販売費及び一般管理費合計	2,172	2,519
営業利益又は営業損失(△)	330	△544
営業外収益		
受取利息	28	22
受取配当金	41	28
業務受託料	8	4
持分法による投資利益	—	10
為替差益	114	—
その他	62	39
営業外収益合計	255	103
営業外費用		
支払利息	101	109
持分法による投資損失	67	—
為替差損	—	12
その他	17	17
営業外費用合計	186	140
経常利益又は経常損失(△)	399	△580
特別利益		
固定資産処分益	3	4
その他	—	0
特別利益合計	3	4
特別損失		
固定資産処分損	15	36
その他	—	0
特別損失合計	15	36
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	387	△612
法人税、住民税及び事業税	89	80
法人税等調整額	11	△4
法人税等合計	100	76
四半期純利益又は四半期純損失(△)	286	△689
非支配株主に帰属する四半期純利益	85	47
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	200	△736

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	286	△689
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	166	17
為替換算調整勘定	△135	△225
退職給付に係る調整額	△4	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	△94	△72
その他の包括利益合計	△67	△287
四半期包括利益	218	△977
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160	△1,000
非支配株主に係る四半期包括利益	58	22

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間の期首よりIFRS第16号「リース」(2016年1月公表)(以下、IFRS第16号)を適用しております。これにより、借手は原則として全てのリースを資産及び負債として認識しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の有形固定資産のその他が12百万円、流動負債のその他が4百万円及び固定負債のその他が7百万円増加しております。なお、従来連結財務諸表の無形固定資産のその他に含めていた土地使用权461百万円については、有形固定資産のその他に含めて記載しております。

また、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。